

平成21年度 事業計画書

1. 共済目的の種類別の概数、引受実績及び計画

区 分		区域内の概数 (A)	前年度引受実績	本年度 引 受 計 画 (B)	本年度 本 年 度 予 定 引 受 率 (B)/(A)
組 合 員 数		14,700 人	14,362 人	14,300 人	97.3 %
農作物共済	水 稻	658,900 a	643,921 a	642,980 a	97.6 %
	麦	2,800 a	1,689 a	3,110 a	111.1 %
家畜共済	成 乳 牛	2,795 頭	2,763 頭	2,800 頭	100.2 %
	育 成 乳 牛	201 頭	183 頭	210 頭	104.5 %
	乳 用 子 牛 等	3,077 頭	1,443 頭	1,510 頭	49.1 %
	肥 育 成 牛	1,453 頭	1,525 頭	1,450 頭	99.8 %
	肥 育 子 牛	108 頭	110 頭	110 頭	101.9 %
	他 肉 成 牛	3,337 頭	3,319 頭	3,330 頭	99.8 %
	他 肉 子 牛 等	3,179 頭	3,516 頭	3,530 頭	111.0 %
	種 豚	489 頭	403 頭	430 頭	87.9 %
肉 豚	3,846 頭	3,230 頭	3,230 頭	84.0 %	

区 分		区 域 内 の 概 数 (A)	前 年 度 引 受 実 績	本 年 度 引 受 計 画 (B)	本 年 度 予 定 引 受 率 (B)/(A)	
果 樹 共 済	な し	1,900 a	836 a	860 a	45.3 %	
	り ん ご	6,000 a	3,084 a	3,200 a	53.3 %	
	ぶ ど う	6,700 a	67 a	1,900 a	28.4 %	
畑 作 物 共 済	大 豆	17,000 a	4,621 a	6,140 a	36.1 %	
園 芸 施 設 共 済	ガ ラ ス 室 類	1 棟	0 棟	1 棟	100.0 %	
	プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス 類	1,736 棟	1,153 棟	1,342 棟	77.3 %	
	プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス 類	8 棟	4 棟	7 棟	87.5 %	
	プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス 類	甲	10 棟	9 棟	10 棟	100.0 %
	プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス 類		25 棟	15 棟	15 棟	60.0 %
	プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス 類		654 棟	199 棟	281 棟	43.0 %
任 意 共 済	建 物	39,500 棟	27,637 棟	28,200 棟	71.4 %	
	農 機 具	28,055 台	2,802 台	3,298 台	11.8 %	
	農 機 具 更 新		4 台	3 台		

2. 農業共済事業の規模

ア. 農作物、家畜、果樹、畑作物、園芸施設共済事業の規模

項目		引 受		共済金額	保険金額	共 済 掛 金			保険料又は交付金	
		本年度予定	前年度実績			総 額 (A) + (B)	国庫負担額 (A)	農家負担額 (B)	(保険料)	(交付金)
共済目的				千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
農作物	水 稲	642,980 a 23,033,157 kg	643,921 a 23,072,016 kg	千円 4,836,963	千円 4,768,020	千円 62,227	千円 31,113	千円 31,114	千円 2,157	千円
	麦	3,110 a 67,029 kg	1,689 a 35,254 kg	4,478	4,263	289	152	137		56
	計	646,090 a 23,100,186 kg	645,610 a 23,107,270 kg	4,841,441	4,772,283	62,516	31,265	31,251	保 2,101	
家畜	成 乳 牛	2,800 頭	2,763 頭	573,200	458,560	122,758	57,366	65,392	50,357	
	育 成 乳 牛	210 頭	183 頭	21,450	17,160	1,113	535	578	455	
	乳 用 子 牛 等	1,510 頭	1,443 頭	42,450	33,960	8,364	4,097	4,267	3,036	
	肥 育 牛 成 牛	1,450 頭	1,525 頭	162,190	129,752	4,853	2,346	2,507	1,861	
	肥 育 用 子 牛	110 頭	110 頭	6,260	5,008	973	483	490	369	
	その他肉用成牛	3,330 頭	3,319 頭	864,000	691,200	43,212	18,582	24,630	21,521	
	その他の肉用子牛等	3,530 頭	3,516 頭	274,100	219,280	27,963	13,434	14,529	11,515	
	種 豚	430 頭	403 頭	16,770	13,416	1,459	584	875	584	
	肉 豚	3,230 頭	3,230 頭	32,300	25,840	5,169	2,068	3,101	2,067	
計	16,600 頭	16,492 頭	1,992,720	1,594,176	215,864	99,495	116,369	保 91,765		

手持
共済掛金
千円
28,957
193
29,150
15,035
123
1,231
646
121
3,109
3,014
291
1,034
24,604

項目 共済目的		引 受		共 済 金 額	保 険 金 額	共 済 掛 金			保 険 料 又 は 交 付 金		手 持 共 済 掛 金
		本 年 度 予 定	前 年 度 実 績			総 額 (A) + (B)	国 庫 負 担 額 (A)	農 家 負 担 額 (B)	(保 険 料)	(交 付 金)	
		千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円
果 樹	な し	860 a	836 a	29,070	27,687	1,067	533	534	316		218
	り ん ご	3,200 a	3,084 a	202,734	193,821	10,616	5,308	5,308	4,345		963
	ぶ ど う	1,900 a	67 a	199,266	189,369	7,322	3,661	3,661	1,662		1,999
	計	5,960 a	3,987 a	431,070	410,877	19,005	9,502	9,503	(保) 6,323		3,180
畑 作 物	大 豆	6,140 a	4,621 a	8,180	7,362	737	405	332	(保) 260		72
園 芸 施 設	ガ ラ ス 室 類	1 棟	0 棟	1,093	984	2	1	1	1		0
	プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス 類	1,342 棟	1,153 棟	330,132	297,119	11,406	5,703	5,703	4,562		1,141
	プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス 類	7 棟	4 棟	12,682	11,414	285	142	143	114		29
	プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス 類	甲 10 棟	9 棟	9,654	8,689	225	112	113	90		23
	プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス 類	15 棟	15 棟	135,377	121,839	647	200	447	358		89
	プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス 類	281 棟	199 棟	35,041	31,537	1,369	684	685	548		137
	計	1,656 棟	1,380 棟	523,979	471,582	13,934	6,842	7,092	(保) 5,673		1,419
合 計				7,797,390	7,256,280	312,056	147,509	164,547	(保) 106,122		58,425

イ. 任意共済事業の規模

区 分	引 受		共 済 金 額	保 険 金 額	共 済 掛 金 ・ 賦 課 金				
	本 年 度 予 定	前 年 度 実 績			総 額 (A) + (B)	共 済 掛 金 (A)	事 務 費 賦 課 金 (B)		
							組 合 分	連 合 会 分	
			千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円
建 物	火 災 共 済	23,200 棟	22,683 棟	270,000,000	270,000,000	213,300	117,315	75,828	20,157
	総 合 共 済	5,000 棟	4,954 棟	27,000,000	27,000,000	66,420	43,505	18,103	4,812
	計	28,200 棟	27,637 棟	297,000,000	297,000,000	279,720	160,820	93,931	24,969
農機具損害共済		3,298 台	2,802 台	4,568,000	4,568,000	19,962	13,235	5,045	1,682
農機具更新共済		3 台	4 台	4,900	4,900	563	551	7	5
合 計				301,572,900	301,572,900	300,245	174,606	98,983	26,656

3. 引受計画と実施方策

ア. 農作物共済

(水稲) 一筆・半相殺・全相殺・品質の各方式の制度説明を十分に果たせる内容を、広報紙等や共済委員会議を通じて啓発し周知に努める。

法人・生産組織の動向を把握し、水田農業推進協議会と連携し(事務一体化)水稲作付耕地を把握し、引受拡大を図る。

(麦) 各関係機関と連携し地域営農の実態を把握し、農業生産団体へ出向き水田農業経営所得安定対策の関連と全相殺方式及び、災害収入方式の制度説明に努め、引受拡大を図る。

イ. 家畜共済

改正制度の一層の普及定着を家畜診療所等、関係機関と連携して推進し、畜産農家の経営安定に資する。

ウ. 果樹共済

生産組織及び生産農家へ出向き、新たに共済目的に追加した「ぶどう」の災害収入共済方式の推進に重点を置き園地台帳の整備を図り、制度の理解を求め普及推進に努める。

エ. 畑作物共済

関係機関と連携をとり、水田農業経営所得安定対策との関連を周知し加入推進を行うとともに、現地確認により、適格耕地を調査して適正な基準収穫量の設定を行い、引受拡大に努める。

オ. 園芸施設共済

有資格台帳を基に地区担当職員と同行し未加入農家への集中加入推進を行う。特に新規就農者へ制度の周知・普及と定着を図り農家の経営安定に寄与する。

カ. 任意共済

(建物共済) 共済委員会議で予約加入取りまとめを依頼し、早期推進を図り、建物、家財の補償拡大をめざし、目標達成に期す。又、共済掛金率、構造区分の変更に伴い、臨時費用担保特約を付して推進する。

(農機具共済) 農業法人等の大規模農家へ制度の普及・啓発をして、引受拡大に努め補償の充実をめざす。

4. 損害評価の適正化の方策

ア. 農作物共済

損害評価の適否がNOSA I制度に大きく影響することから、管内の見回り調査により被害状況を的確に把握し、適正な班編成を図り現地評価研修を重ね、評価技術の向上と評価眼の統一を図り公平かつ適正な損害評価に努める。

イ. 家畜共済

家畜の評価基準価額の適正化、病傷事故審査の適正実施、廃用認定等の確認及び残存物価格評価、特定事故の現地評価の適正化に努める。

ウ. 果樹共済

農家の被害申告を基に、関係機関の協力を得、被害状況の把握を行い公平かつ適正な損害評価を行う。

エ. 畑作物共済

現地の見回り調査を行い、被害状況の把握を行い適正な損害評価を行う。

オ. 園芸施設共済

風水害など、事故発生に迅速な評価体制を整備し現地の見回り調査を行い、被害状況の把握を行い適正な損害評価を行う。

5. 損害防止事業の実施方策

ア. 農作物・畑作物・果樹共済

野猪等の被害対策のため、電気牧柵等の設置に対し資材費の一部を助成する。設置の指導と防護対策情報を提供する。
また、防護網の斡旋を行う。

イ. 家畜共済

(1) 特定損害防止事業の実施

家畜診療所と連携して、金属異物疾患、乳房炎、ケトン症、尿石症等の検査・指導を実施し、事故の低減を図る。

(2) 一般損害防止事業の実施

繁殖障害検診等を毎月1～2回、地域ごとに実施する。又、畜舎消毒、削蹄を行い、事故低減に対する意識の向上を図る。
また、連合会家畜診療所が実施する家畜共済事故低減指導事業に係る農家負担経費の助成をする。

ウ. 園芸施設共済

風水害など気象情報に注意して、情報提供と損害防止の指導をする。

6. 執行体制の整備

ア. 事務執行体制の整備方法

- (1) 理事会を年4回以上開催し、組合運営、事業推進等について検討協議し、組合の適正運営とコンプライアンスを遵守し、事業計画の達成を図る。
- (2) 監事会は年2回以上開催し、監査実施計画を決定し中間監査と決算監査を行い、必要に応じ臨時監査を行い、事業運営の適正化を図る。

イ. 共済委員の設置並びに職務

NOSAI部長49名及び共済委員1,320名を委嘱して、組合員との連絡、加入取りまとめと掛金徴収等の業務に協力を得、研修会等を開催し基礎組織の機能強化に取り組み、組合運営の円滑化と各事業推進を図る。

ウ. 職制及び職員の配置計画

参事1名、総務課7名、企画管理課4名、第1事業課10名、第2事業課15名、合計37名を置く。

又、地区担当を定め、NOSAI部長、共済委員、組合員との連絡の任務にあたる。

7. 予算統制の方策

事業計画の完遂を期し業務収入の確保に努め、各課内で自主統制による経費節減を徹底するとともに、業務支出は予算との調整をはかり、充分検討し更なる組合運営の健全化に努める。